

東京大会を控えた、風しん・麻しん（はしか）対策のお願い

～多くの訪日外国人と接する機会のある業務に従事する方へ～

政府では、東京大会の成功に向け、**多くの訪日外国人と接する機会のある方等に対し、風しん・麻しんへの感染リスクを一層低下させることを目的とした対策（特別対策）を推進しております。**

多くの訪日外国人と接する機会のある業務に従事する方におかれましては、来年5月末までに以下の対策を行うことについて、ご協力をお願いします。

なぜ、風しん・麻しん対策？

○海外の状況（2019年（年間））

・麻しん患者数（世界） 約53万人 ※2018年（年間）：約34万人

○国内の状況（2019年（年間））

・麻しん患者数 744人 ※過去10年間で最多

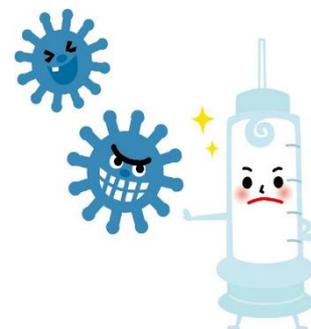
・風しん患者数 2,306人 ※2017年（年間）：91人、2018年（年間）：2,946人

⇒東京大会を控え、これまで以上に訪日外国人が多く訪れることが見込まれる中、風しん・麻しん対策のさらなる強化が急務となっています。

対策① S37.4.2～S54.4.1 生まれの男性は「クーポン事業」の活用を

- S37.4.2～S54.4.1 生まれの男性は、厚生労働省が実施する「風しんの追加的対策」によるクーポン事業を活用して、抗体検査・予防接種を実施することが可能ですので、お早めの対応をお願いします。

※現在、クーポン券がお手元がない方は、お住まいの市区町村にお問い合わせください。



対策② MRワクチンの予防接種の検討を

- 令和2年4月2日時点で30歳以上の方は、クーポン事業の対象でない方も、ご自身の風しん・麻しんの感染歴・予防接種歴が確認できない場合には、MRワクチン^(注)の実施をご検討ください。

(注)風しん・麻しん双方に効果のあるワクチンです。



対策③ 手洗い・うがい等による感染症予防の実施を

- 風しん・麻しんの感染リスクの低減に向けて、手洗いの励行、うがいの実施等について、ご協力をお願いします。

※こうした取組は、風しん・麻しん以外の感染症予防にも有効です。